

新潟県加茂市：加茂駅周辺まちなかエリア

エリアプラットフォームの構築／未来ビジョン等の策定

□ まちづくり・賑わいづくりの重要な拠点となる当エリアにおいて、官民の垣根を超えた多様な人材が集積したエリアプラットフォームを構築し、賑わいと活力があふれた持続可能なまちづくりの推進を図る。

事業概要（R5事業費：10,000千円、R5国費：4,500千円）

対象エリア



加茂市エリアプラットフォーム準備協議会

【構成員】

■民間事業者
加茂商工会議所、
加茂市商店街協同組合、
加茂青年会議所、金融機関、
通信事業者、交通事業者、
放送事業者、地元大学

■行政
新潟県、加茂市

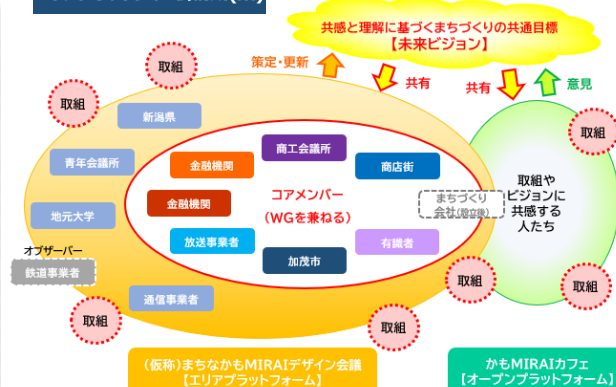
【優れた専門人材】

(株)connel 代表取締役 萩野 正和
・会議への参画及びアドバイス
・ブランディング等の監修

新潟大学工学部工学科
准教授 松井 大輔
・会議への参画及びアドバイス
・空間デザインの監修

全国道の駅女性駅長会
会長 加藤 はと子
・会議への参画及びアドバイス
・事業実施時のアドバイス

エリアプラットフォーム構成(案)



過年度の取組

- ・四半世紀ぶりに策定した総合計画において、市と市民が今後進むべき方向性を明示 (R2~R3)
- ・加茂川を泳ぐ鯉のぼりのライトアップによる水辺空間を活用したにぎわい創出社会実験の実施 (R4)
- ・シビックプライド醸成と市民参加型のまちづくりを推進するワークショップの実施 (R4~)
- ・「公共政策フォーラム2021 in 加茂」を契機とした産官学が連携したまちづくりフォーラムの実施 (R4.11)
- ・地元組織の代表や外部有識者とともにエリアのあり方や今後のまちづくりの方向性について検討する会議を開催 (R4.11~)



未来ビジョンの検討方針

将来イメージ

- ・当エリアは新潟と長岡を結ぶJR信越本線の中間地点にある加茂駅と、近代化されたアーケードを伴う商店街を中心として、加茂川や加茂山、歴史的文化的財が点在する街区が近接したウォークラブルでコンパクトなエリアである。
- ・JR信越本線で分断された西側から東側へのアクセス性の悪さ、駅利用者の歩行導線が商店街を含まないものになっていること、駅周辺に居場所となるようなパブリックスペースがないこと、慢性的な宿泊施設・駐車場不足などが弱みである。
- ・賑わいの創出や時間的・経済的消費に結びついたエリアへと展開するため、交通再編によるアクセス性や既存ストック(空家・店舗・土地など)を活用した滞在性・回遊性の向上、賑わいやつながりを生む地域拠点の整備、当市の地域性を伝えるブランディングを重点的に取り組む。

スケジュール

R5年度

	R5.4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6.1月	2月	3月
エリアプラットフォームの設立												エリアプラットフォーム設立
未来ビジョンの策定												

今後の予定

- R6.3 エリアプラットフォーム設立 (予定)
- R6.6 未来ビジョン策定 (予定)
- R6~ 未来ビジョンに基づく公共空間の利活用に係る実証実験の実施 (予定)